

- ・三条市吹奏楽団より 30周年記念定期演奏会への招待状

日時 平成18年6月18日（日）14：00～

会場 新潟県民会館

- ・田上あじさいRCより 横山パストGB卓話のご案内

6／20例会に卓話をさせていただきますので、出席希望者の方はご来会ください。

ニコニコボックス： 30日現在累計 1,154,400円

池田英夫君 （三条東RC）三条北ロータリークラブの皆様には日頃多大なるご支援とご指導をいただいています事に感謝申し上げます。8／26の国際認証状伝達式に全員出席願います様、お願い申し上げます。

鈴木守男君 （三条東RC）北ロータリークラブの皆様方にはいつもご指導をいただきありがとうございます。8月26日の認承伝達式ではお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

白倉昌夫君 ニコニコ委員長から後半のボックスの要求されました。私としては要求される前にボックスを考えていたのに。

横田加代子君 今日、夏の服をきょうとしたらポケットに1000円できたのでBOXに協力です。
ラッキー

馬場直次郎君 地球温暖化と言われる昨今、このところの涼しさ、大氷河時代の到来の序曲であろうか…まったく変な気候が続いていますネェ…。

斉藤正君 遠く中条クラブから威本（いもと）さんお越し下さいまして有難うございました。ごゆっくりお越し下さい。

柄沢憲司君 この度のハーモニックゴルフコンペに多数のご参加をいただき有難うございました。又佐藤弘志さんの卓話楽しみにしてました。

斉藤興一君 今日は早退させていただきます。佐藤さんの卓話楽しみにしていましたが、週報で読ませて頂きます。

駒形実君 私の担当も残り4回となりました。皆様のお陰で集まっております予定額にはまだ到達していませんが、もう少しの御協力お願い致します。

本間重満君 佐藤弘志さんの卓話楽しみです。

佐藤啓策君 佐藤弘志さん、卓話御苦労様です。楽しく拝聴させていただきます。

星野義男君 佐藤さんの卓話に感謝して!!

米山忠俊君 佐藤弘志さん卓話ご苦労様です。勉強させていただきます。

木宮隆君 BOXに協力

小林幹扶君 BOXに協力

堀川正幸君 BOXに協力、

安田貞夫君

山崎勲君

卓 話： 「7・13水害」その時私は、佐藤弘志会員

北ロータリークラブ例会日、私の卓話の日であった。前日からの雨で五十嵐 川増水で橋が全部交通止の情報で国道を廻り例会場に向かう。どの道路も車が渋滞していた。途中例会中止の報がロイヤルの石川会員から入る。引き返し、家で昼食を取りテレビを見ていると、大崎、曲淵地区が床下浸水の速報を見、会社に電話する。その地区の社員は皆、帰したとの報を受け安心する。

近くのスーパーに先日導入した高額の手動洗濯機が気になり見に行った。スーパー前の道路は水で通行止めであった。外山晴一会員の社屋前の道路も水で溢れていた。これは大変と思い、急いで家に戻ると車庫に水が入り始めて居た。3ヶ月前に買った新車に急いでガムテープで目張りをしている内に水は私の膝まで来た。危険を感じ家の中に入ろうと玄関に向かうともう水は玄関の中に入ってきた。2時30分頃であった。2分から3分の間にみるみる床上浸水である。家では家内が内職をしていた。内職の重い箱8箱を、二階に上げ、我が家で一番高価なベルシャ絨毯、母の写真、仏壇の仏像や位牌、私のスーツ類を二階に上げただけで、他の一階の物は一つ助けられなかった。水の勢いはすごく、みるみる畳を押し上げ、テーブルやイス、冷蔵庫、あらゆる物が水面に浮いた。直感的に堤防でも切れたかと思い、第一中学校に行っている子供や、会社が心配になった。家の電話はブレーカーが落ち、携帯で中学校や会社に電話しても繋がらない。短パン姿で外に出た。水は私の胸までであった。近所の若奥さんがパニックになっていた。二階に上がっていれば大丈夫と言って落ち着かせた。

道路は東から西の激流、南から北の流れと二つの流れであった。近くで50歳位の女の人が流されやっとの思いで助けた。とても学校や会社は行かれない。家に入り、ひたすら学校や、会社に電話をする。繋がらない。情報が解らない。不安になる。二階に上がって外の様子を見ていると首まで水につき何人か歩いてくる。東から西の激流に当たるとあぶない。必死で来るなど声を出す。

3時30分漸く会社に繋がった。会社は何でもない。前の道路も何ともない。中学校にも繋がった。子供も無事であった。一安心。子供も会社も無事であれば家位はと思った。まだ首まで浸かり歩いて来る人が居る。向かいの工業高校の二階からも先生達が危ないと大声を上げている。私も必死で声をあげた。

工業高校のフェンスを超える激流に当たった。流された。50m位、離れた南小学校のフェンスに当たり助かった。その人は必死の思いでフェンスにつかまりフェンスの淵をカニ歩きで消えた。良かった。大事な人が家に居るのであろう。気持ちは解るが本当に危なかった。

家の中の水は階段の3段目まで来ていた。近所の奥さんはまだ心配している。二階越して元気づける。会社に電話する。又繋がらない。さすがの家内も心配する。私は二階まで水が来たら、子ども達のベッドで筏を作るから心配するなどと励ます。5時20分会社の社員の携帯から、今、会社が浸水してパソコンを上上げている状況との連絡が入る。社屋の床上浸水、それよりも低い倉庫や駐車場の車は、屋根しか見えない。倉庫はおそらく水の中との事。目の前が暗くなった。6人残ってパソコンや金庫の中の書類を上げているとの事であった。3時30分会社に繋がった時に的確な指示を出していれば良かった。悔やまれてならない。私の危機対応のまずさ、危機管理の無さである。会社に行きたくとも危険で行かれない。携帯にこの頃から県外の知り合い、市外の知り合いから頻繁に安否の連絡が入る。テレビのニュースで知ったとの事である。不思議と北の市内の知り合いからはあまり入らなかった。残った社員と連絡を夜、取り合う。お互い水はあるが食べ物が無い。明日になればと言いが